



椿キッズ

We are Tsubaki-kids.



第33号

今年度も一年間、無事故で過ごせました。安心・安全の取組



椿小学校では、椿っ子見守り隊の皆様、PTA おはようパトロールの方々、CTLでお世話になっている皆様、駐在所の近藤さん、青色パトロール巡回指導の皆様、8.3 運動の皆様など、たくさんの方に、登下校のお世話になっています。また、鈴峰中学校区では、年に3回、「鈴峰中学校区あいさつ運動」を実施し、小学校と中学校の教員が協力し合って、交通指導とあいさつ運動を行っています。さらに、下校直前にも、昇降口横の広場で、簡単な交通安全指導も行っています。



その他にも、今年度は、「交通安全教室」において、久しぶりに自転車の正しい乗り方訓練を実施し、警察や交通安全協会の方に直接指導をしてもらいました。

このような取組を重ねてきた結果、子どもたちに交通安全への意識を十分に持たせることができ、今年度も大きな事故もなく、登下校や放課後の生活もおおむね安全に過ごすことができました。

地域のドライバーの皆さんは協力的で、子どもたちの安全を優先し、横断歩道のかなり前から速度を落とし、一時停止して、子どもたちの横断を見守ってくれています。しかし、危険なドライバーもいて、一時停止しなかったり、猛スピードで走り去ったりする車両もあります。こうした車両を避けるため、子どもたちにはできるだけ安全なルートを通ることや、安全確認を徹底するように指導を続けていきたいと思っています。

ところで、昨年度から自治会関係者の皆様には、ガードレールや横断歩道、グリーンベルト等を設置してもらい、設備面でも力強いサポートをいただき、本当にありがとうございました。また、現在も自治会長さんやPTA役員さん、駐在さんから、山本北の三叉路に横断歩道をつけてもらうよう要請を出していただいたり、正門前の信号機を学校の西の交差点に移転してもらうようお願いしてもらったりしています。今後もさらに安全設備が充実するとありがたいです。

以上のように、今年度も安心・安全に関しては、大きな成果をあげることができました。今後も、交通状況を把握しながら安全な登下校を指導していきたいと思っていますので、子どもたちの見守りについて、来年度も変わらぬご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

今年一年でまた伸びました。読書活動推進の取組



図書室の楽しい掲示や展示

椿小学校では、昨年度に引き続き、次のような読書活動を推進してきました。

- ・毎朝の10分間読書
- ・読み聞かせボランティアさんのお話宅配便
- ・図書委員さんによる図書祭り、読み聞かせ
- ・読書指導出前授業(未来応援人)
- ・図書巡回指導員さんによるブックトーク、整備
- ・家庭学習での読書週間の取組、親子読書



これらの取組を計画的に進めることにより、今年度の学校図書館からの貸し出し冊数は、現在約8,400冊を超え、昨年度の同時期よりなんと1,000冊以上増えています。一人当たりで計算すると、約80冊となり、すでに昨年度

の記録を更新しました。これは、鈴鹿市が目標としている一人50冊を大幅に超え、3月末にはおそらく85冊前後になると予想されます。

読書によって、子どもたちの読解力・思考力・表現力は大きく伸びていきます。身に付いた読書の習慣を今後も続けていってほしいと思います。

3年生 昔の暮らし出前授業

～エネルギーと環境を考える～



3月3日(月)、「三重県地球温暖化防止活動推進委員」の落合先生、吉田先生に来ていただき、3年生が「昔の暮らし」について学びました。

3年生の社会科には、昔と今の生活道具を比べながら、生活の豊かさ・便利さと環境との関わりを考えていく学習があります。

この授業では、昔の暮らしの中で実際に使われていた道具をたくさん運び込んでもらい、展示して説明していただきました。

子どもたちが学ぶ資料は、教科書やインターネットに写真や絵でも紹介されていますが、やはり実物とは違います。本物の道具を目の前にし、手に取ってその感触を味わいながら、子どもたちは目を輝かせて学習に取り組んでいました。



この学習のもう一つのねらいは、エネルギーと環境の問題を考えることでした。子どもたちは、昔の道具は、主に人や動物、薪、水の力に由来する環境にやさしいエネルギーを使っていましたが、現代の道具は、ほとんどが電気、ガス、石油などの環境に負担をかけるエネルギーを使って動かしていることを理解することができました。

電気、ガス、石油などのエネルギーを多用した結果、地球温暖化という事態をまねき、その影響が、ここ数年の気候変動につながっている可能性は十分にあります。

これからの時代を生きていく子どもたちにとって、エネルギーと環境の問題は避けて通ることのできない問題です。今日の出前授業が、この問題を考えていくきっかけになればと思います。